

## 議事録

1. 件名： 静的機器の衝撃応答及び原子炉本体基礎の載荷試験に係る市場調査
2. 日時： 令和3年5月25日(火) 13:15～15:15
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野統括技術研究調査官、高松技術参与、吉村技術参与、永井技術研究調査官  
  
日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社  
原子力生産本部 原子力計画部 耐震計画グループ 主任技師 ほか2名  
原子力生産本部 原子力設計部 原子炉機器設計グループ 技師  
原子力技術本部 原子力事業開発部 チーフプロジェクトマネージャ  
原子力技術本部 原子力事業開発部 事業開発グループ 技師  
  
株式会社日立製作所  
原子力・発電制御システム本部 原子力制御システム設計部 主任技師
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、原子力施設の設備等の耐衝撃性に係る知見を拡充するための安全研究を計画している。  
当部門では、本安全研究の一環として、原子力施設の静的機器等の衝撃応答に係る知見の調査及び衝撃応答試験を検討しており、その実現性に係る市場調査を実施した。  
内容は下記のとおり。
  - ① 試験対象の静的機器を規制庁側から説明した。
  - ② 静的機器に対する応答解析の実施可能性を確認した。
  - ③ 想定する加振試験及び試験装置を確認した。  
また、当部門では、過去に大きな地震を経験したプラント設備を対象に、設計を超える地震に対する耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を計画している。

当部門では、本安全研究の一環として、原子炉本体基礎の載荷試験を検討しており、その実現性に係る市場調査も併せて実施した。

内容は下記のとおり。

- ① 原子炉本体基礎の載荷試験の概要を規制庁側から説明した。
- ② 載荷試験の実施可能性を確認した。

## 6. その他

特になし